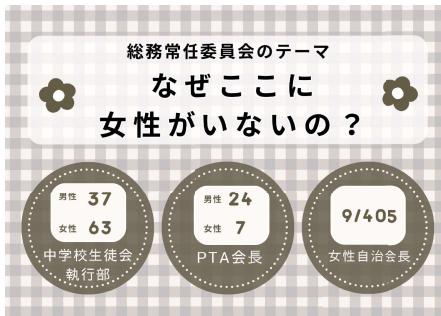
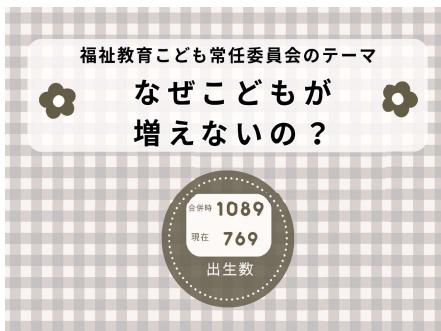


# この数字って!! どう思う?



- 生徒会は自分たちで変えられるが、自治会は変えようがないように思える
- 自治会活動は昔からの慣例が残り、女性は前に出にくい状況
- 家族の協力と理解があったから仕事を続けられた
- 子育てで仕事を辞めなければいけない状況だった
- 生徒会の数字を見ると、将来の女性の活躍が期待できる



- 女性の社会進出や自立が重視されるようになり、結婚や出産が後回しにされる傾向がある
- 共働きで仕事が忙しい中、余裕がなく、子どもを持つことを選ばない人が増えている
- 地域の魅力不足が子どもを持つ若い世代の流出や、減少につながっている
- 妊娠可能な時期に関する正しい理解と対策が必要
- 子どもの健やかな成長に必要な教育予算の充実をもっとして欲しい
- 子育てしたいと思える環境をどう作るのか、市全体で子育てがしやすいという印象・イメージが大切



- もっと米などの国内農産物を食べて日本の食料自給率を上げる
- 農業者は生産者自らや農産物の情報発信をもっとすべき
- 地域の特産物のブランド化
- 政所茶など高級ブランドを作つてはどうか
- 新規就農者を応援するシステム作りが大切
- コストコの集客をあいとうマーガレットステーションなどにつなげる

**【参加者の声】**

- このような機会を年に1度ではなく定期的に行ってください。
- 今後も続けてほしい。
- とても有意義な機会。多くの人と交流できました。

- 時間が短く消化不良で残念。関心のあるテーマを掘り下げて話し合ったかった。
- 意見がたくさん出て楽しい雰囲気の意見交換会でした。
- 意見交換の場、回数が多い。
- 議員自らが各地域へ出向いて行うべき。



1月27日、あかね文化ホール・蒲生コミュニティセンターで市民と議会の意見交換会を開催しました。この意見交換会は、議会の活動を市民の皆さんにお知らせし、ご意見などを直接聞かせていただるために開催しています。10回となる今回は、約130人に参加いただきました。この日は、朝桜中学校吹奏楽部がオープニングを飾ってくれました。

第一部では、議員による市議会の取り組みについての報告を行いました。2部では、議員による市議会の仕組みや各常任委員会ごとにテーマを設け、キーワードに分かれて、お茶を飲みながら和やかに話し合いました。今年は、まちのこと・子育てのこと・食のことなど各常任委員会ごとにテーマを設け、キーワードに分かれて、お茶を飲みながら和やかに話し合いました。例年、女性の参加者が少ないとことから、積極的に呼びかけ、第2部では参加者の約7割が女性でした。

